土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	県立広島大学三原キャンパス　斜面補強事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BorNo.2	調査位置	三原市学園町　地内(NO.6+0.39 R=13.14m)	北緯	34° 23' 31.0896"
発注機関	広島県東部建設事務所　三原支所	調査期間	令和元年10月28日～ 令和元年10月29日	東経	133° 03' 20.7913"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 8.28m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	32° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　D1C-58型
					エンジン：ヤンマーNS130型　ポンプ：東邦地下工機　BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	7.48	0.80		礫混りシルト質砂		茶褐			表土・崖推堆積物 φ10mm前後の礫が混じり、細粒分を含む 砂は細～中砂主体	
1				粘板岩		淡灰			粘板岩の風化土 原岩組織を残すも風化著しく礫混じり砂質土状となる。	
2	6.28	2.00		風化粘板岩		黒褐			風化粘板岩 土丹状コアとして採取される。 花崗岩が割れ目沿いに貫入しているのが認められる。 深度4.8m以深は、比較的硬質となる。 軟岩Ⅰ. 岩級DH	
3										
4										
5	3.28	5.00								10/29 5.00
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
11	1.15	2	5	4	11/300		
	1.45						
50	2.15	16	17	17	50/300	300	
	2.45						
50以上	3.15	20	20	10/90	50/290	290	
	3.44						
50以上	4.05	23	27		50/200	200	
	4.25						
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 深度 (m)	試験名及び結果	削孔月日
						10/29